

奴国の丘歴史公園で鑄造を公開します 「奴国の鑄造」を考えるワークショップ

春日市には、弥生時代の著名な遺跡である『須玖岡本遺跡』があり、須玖岡本遺跡とその周辺の遺跡では青銅器生産が盛んに行われていました。

これにちなんで、昨年5月から「奴国の鑄造」を考えるワークショップを開催し、高校生や大学生が鑄造や青銅器について学び、銅鏡の石製鑄型の製作に取り組んできました。このワークショップの一環で、歴史資料館前の広場で溶かした金属を流し込む鑄造を一般公開します。



▲鑄造練習の様子（福岡教育大学にて）

- 日時** 1月21日（日）午後1時30分～3時30分
※雨天時は中止です
- 場所** 奴国の丘歴史公園（資料館前広場）（春日市岡本3-57）
- 参加者** 高校生及び大学生（18人）
- 講師** 宮田洋平（みやた ようへい）氏（福岡教育大学教育学部美術教育ユニット・教授）
- 担当課** 春日市協働推進部 文化財課 整備活用担当 森井（もりい）
春日市岡本3-57（春日市奴国の丘歴史資料館）
TEL 092-501-1144 FAX 092-573-1077
E-mail nakoku@city.kasuga.fukuoka.jp

【リリースに関する問い合わせ】

春日市 経営企画部 秘書広報課 広報広聴担当

〒816-8501 福岡県春日市原町3丁目1番地5

電話 092-584-1111

Fax 092-584-1145

Email koho@city.kasuga.fukuoka.jp

Web <http://www.city.kasuga.fukuoka.jp/>